

質
問
QUESTION

回
答
ANSWER

イベントによる新しい地域コミュニティの構築を目指して

イベントを通じて、地域コミュニティの振興を図ります

「企画調整課長」



おがわ ふみ お
小川 文雄

質問 昨今のコミュニケーションは、モバイル端末等の急速な普及によって、お互いの顔が見えないものとなっていて、防災時では、必ずしも自助、共助といわれませんが、日頃から顔を合わせたことのない者同士が、警報だけで集まって共助ができるで

しょうか。人と人とのつながりが乏しくなりつつある今日、必要なことは平生から、子どもからお年寄りまでが集まれる仕組みを作ること、お互いが顔見知りになるということだと思います。

その役割を果たす一つの手段がイベントです。町には「ふれあい祭り」「梅まつり」「さくら祭り」などあります。ですが、もっと賑やかで盛大になることや、新たなイベントを創設する工夫が必要です。

来年は、町の発展の契機となる安八SICの開通や、安八温泉へ定期バスの乗り入れが計画されています。記念して、新しいイベントを企画してほしいと思います。

近年、地域コミュニティの発展的見直しや、新たなイベントの立ち上げについての所見を伺います。

来年は、町の発展の契機となる安八SICの開通や、安八温泉へ定期バスの乗り入れが計画されています。記念して、新しいイベントを企画してほしいと思います。例えば、安八温泉で、今、全国的に熱く盛り上がっています「盆踊り大会」を

行うことはタイムリーな催しではないかと思えます。多くの町民が集まるイベントを打つことによって、いつの間にか忘れ去られようとしている、世代を超えた多くの人達が集い、人と人とのつながりを密にして、お互いに理解を深め、喜びを分かち合う、そんな心のかよった新しい地域コミュニティを構築してほしいと思います。

町民の皆さんが心豊かに暮らせるまち、ひいては、私が活動目標にしている「笑顔があふれるまちづくり」を作り上げていただきたいと思えます。

そこで、既存のイベントの発展的見直しや、新たなイベントの立ち上げについての所見を伺います。

回答 近年、地域コミュニティの希薄化は全国的な問題となっており、当町においても同様と考えます。現在、町で設けている地域コミュニティ振興のための「ふれあい活動助成金」の活用促進を図ります。また、従来からの「さくら祭り」「ふれあい祭り」「梅まつり」の3大祭

りには、町内外から数多くの皆さま方に参加していただいています。今後は、タイムリーな「盆踊り大会」などが開催できるよう、商工会や区長会、各種団体などと協議します。



イベントにより新しい地域コミュニティの振興を図ります